

水資源機構

お正月前に河床をきれいにします。

～**どうさんかわ** 銅山川の河川環境改善にむけて「弾力的管理」の試行運用～

国土交通省と水資源機構では、管理する銅山川ダム群（富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダム）が連携し、新宮ダム下流の河川環境を改善するために「弾力的管理」の試行運用を行っています。

今回の試行運用は、最大毎秒約15m³を放流し、お正月前に河川環境の改善効果を検証します。

試行運用に伴う放流日は、令和7年12月17日（水）8時00分から実施することをお知らせします。

詳細につきましては、別紙をご覧ください。

※なお、天候の状況等により中止する場合があります。

●放流のイメージ



※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力プロジェクト】に該当します。

令和7年12月10日
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
水資源機構 吉野川上流総合管理所

問い合わせ先（○：主な問い合わせ先）
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
TEL 0883-72-3000（代表）
計画担当：副所長 石川 洋（内線204）
○管理課長 山本 光昭（内線331）
独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所
TEL 0883-72-2050（代表）
安全担当：○管理課長 大谷 知樹（内線331）

令和7年から 銅山川ではフラッシュ放流を 年3回実施します。

「フラッシュ放流」とは、一時的に放流量を増加して、川をきれいにする取り組みです。

4月 第4週の水曜日(ゴールデンウィーク前)

8月 第2週の水曜日(お盆前)

12月 第3週の水曜日(お正月前)

※水曜日が祝日の場合は、前後の日に実施

放流による水量の増加



令和7年度の実施予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放流の実施	★ 4月23日				★ 8月6日					★ 12月17日		

フラッシュ放流による効果(最大15m³/s×1時間の放流)

放流前



最大15m³/s放流後



放流によって河床がきれいになります

銅山川の河川環境改善の取り組み



影井堰からの放流は2つの方法を行っています。

◆フラッシュ放流：

一時的に放流量を増加して、川をきれいにする放流

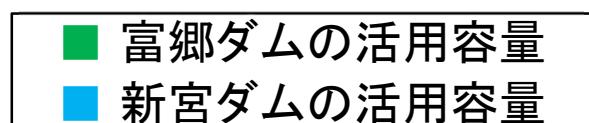
◆フラット放流：

少量の放流を続けることで、通常の水量を確保する放流

令和7年から放流に使える水量を増やします

Q. 水は、どれくらい増やすの？

A. 使用する水量を約2.3倍に増やします。



「活用容量」とは、河川の環境改善に使用することができるダムに貯める水の量のことです。

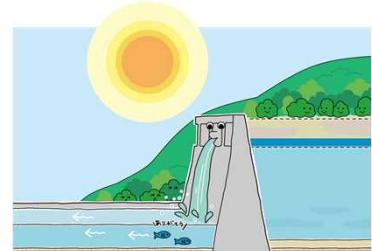
約2.3倍

約42.0万m³

約76.8万m³

Q. フラッシュ放流はどう変わるの？

A. これまで夏に1回でしたが、これからは年に3回放流します。



Q. フラット放流はどう変わるの？

A. 令和6年よりも約30日長く放流することができます。

★ ご協力いただきたいこと

フラッシュ放流は、最大 $15\text{m}^3/\text{s}$ の水量を約1時間放流します。放流によって川の水が急激に増え、川幅いっぱいに水が流れるため、フラッシュ放流の実施時には川の中には近寄らないでください。

■問い合わせ先

計画担当 国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所 TEL : 0883-72-3000
安全担当 水資源機構 吉野川上流総合管理所 TEL : 0883-72-2050